

泉



8 御獄社 (おみたけさん)

室町時代の元禄元年(1570)頃には、既に造られていた。御獄社の本社は長野県西筑摩郡木曾谷西側の王滝村にあり、新岳山を崇拝する山岳信仰の社で伊豆山の修験者がその分身を譲り受け伊豆山の御獄の森の中に安置し小さな社を造り祀ったのが本社の創設といわれています。元は、岸谷バス停留所の上の森の中にありましたが、伊豆山神社線道路拡幅を経て昭和45年頃、現在の岸谷会館の横に移されました。

徒歩5分 0.39km

9 横道地蔵

江戸時代文化5年(1808)に伊豆山の般若院泉蔵坊と村人が通る道を造り、横道地蔵を建てました。ここは、旧小田原(横川)街道の通りで源頼朝も徳川家康や諸大名もまた、一般の旅人も鎌倉、江戸から熱海へ来るには必ずこの横道地蔵のそばを通っていました。台座の下石に「石おたわらみち」その斜め上の小さな地蔵尊の台石には「左がひなみち」の文字がみられます。

徒歩7分 0.42km

10 逢初橋 (あいぞめばし)

古文書によると伊豆山神社麓岸谷バス停の所にあった御獄社の森の下に架かっていた橋が本当の逢初橋であると記されており、現在の赤い橋は明治13年に国道として建設されました。古代、伊豆山中で難波し、初鳥に源頼朝の初木地蔵、伊豆山に渡りここで伊豆山摩訶(いずままこと)と初めて出逢った所といわれ、後の人はここを逢初橋とよんでいます。若き頼朝と政子が初めに出逢った所ともいわれています。

徒歩1分 0.03km

11 逢初地蔵堂

逢初橋のたもとこの地蔵堂は平安時代、元暦元年(1184)に源頼朝の長女女木病氣平癒のため、母政子が経文を書いた紙を巻いて作った地蔵尊を逢初地蔵堂に祀り延命祈願をしたところと書かれています。この延命地蔵尊は2体作られ1体は逢初地蔵堂に、もう1体は頼朝の旗揚げの時、走海山常行堂(そうかいじょうどう)におまかせされました。

徒歩8分 0.54km

12 走り湯

約1200年以上も前のもので日本でも珍しい横穴式源泉で日本最古の温泉の一つとして知られ、奥行き5メートルの横穴から約67で、毎分17リットルの湯が噴き出しています。天武天皇の時代に役行者(あまのりくご)によって発見されたといわれています。昔はこの源泉から1分間に900リットルの湯が海岸に流れるが如く飛び散るようになり、いつか走り湯と名付けられました。

徒歩1分 0.06km

5 伊豆山神社

昔、神鏡が相模国唐浜に流れ着き、松葉仙人が伊豆山に祀り、走湯権現(そうとうごんげん)と伝承。祭神は火牟須比命(ひむすひのみこと)、伊邪那岐命(いざなみこと)、伊邪那美命(いざなみこと)の三柱を祀っています。伊豆に流された頼朝と政子が逃げ隠れ結ばれた事から縁結びの神として多くの参詣者を集めています。鎌倉時代には関東の総鎮守として頼朝に厚く信仰され、箱根権現と走湯権現(伊豆山神社)の二所鎮(ふたごじん)は有名です。また、国道135号から権現茶屋までを権現坂といわれ、春は桜の名所となります。

●伊豆山神社例大祭/毎年4月14日～4月16日 ●WCあり ●おみくろ 権現坂・雷電社・結明社・定立権現社・新朝、政子の腰掛け石

7 般若院

般若院は山号を走湯山といわれ、真言宗(しんごんしゅう)の古刹で、明治元年まで伊豆山神社の境内の続きにありました。かつては、真言宗伊豆の総元帥で関東一円に大きな勢力をもち、神社の東側に大伽藍を誇っていましたが神仏分離令により取り壊され神社西側の現在地に移りました。

徒歩7分 0.36km

16 日枝神社

滋賀の日枝大社から分祀された櫛村集落の氏神です。竹林の奥の階段を上った所に鎮座しています。日枝神社にある御願(管理上、別に保管)は、昭和26年1月1日、伊豆山権現大洞台に住む志賀直哉宅に安齋能成や谷崎潤一郎が年賀に訪れた時、志賀直哉の口利きで安齋能成が「日枝神社」の社名を木額の裏に、年月と署名を裏に書き残したものです。

徒歩1分 0.1km

4 伊豆山郷土資料館

昭和56年(1981)4月13日、熱海市によって建設されました。展示品は、伊豆山神社ゆかりの宝物や文化財等で、伊豆山権現の神像や北条政子の髪の手で刺繍したといわれる頭髪梵字曼荼羅(とうはつばんじんまんどう複製)が展示されています。

●午前9:00～午後4:00(但し入館は午後3:30まで) ●月曜日休館 ●有料 ☎0557-80-4252

14 身代り不動尊

川崎の身代り不動尊の熱海別院となっており、京都醍醐寺当院の密教院は足利時代には別当が醍醐寺派であったので伊豆山とのかかわりがあります。

徒歩25分 1.14km

1 落合橋

千歳川と藤木川との落ち合った所で静閑と神奈川県との接点の中心のな場所です。橋のたもとには日金山石仏の道の起点となって石仏がおかれています。

●瀧河原駅バス2番乗場より「元箱根方面、奥瀬河原・不動の滝」行き 約10分「落合橋」下車

8 福泉寺

福泉寺は、山号を青谷山といひ、享禄5年(1532)7月7日に保善院四世の傳教守元和尚が創立しました。曹洞宗・茅草の庵に藤原の木、やさしさと懐かしさにあふれた境内には、陶製の高さ3メートルの駒が上らぬらしい「首大仏(お釈迦様)」があります。

徒歩15分 0.82km

7 天寿院

曹洞宗、中興の開基「月庭了心大徳」が天寿を全うしたことにより寺の名前がつけられたといひ、境内は明るくどかで見どころは「子育地蔵菩薩像」。参道には梅や桜が多い。

徒歩3分 0.2km

6 保善院

曹洞宗の名刹で境内には開山の僧である安養師が袈裟をかけた和歌を焼いた「破産掛の松」や日本画の巨匠竹内栖鳳の瓜塚(吉川英治撰文)があります。

徒歩12分 0.6km

2 クリアーシ熱海ゆがわら工房

ドイツ、ランペルツ社製のアンティークグラスをはじめ1000色以上の味わい深い色ガラスと本場ゆがりの確かな技術によってステンドグラスの制作を行っています。また、滋賀県甲賀郡江田大町にある信楽工場で制作される陶板レリーフのデザイン・原型制作やモザイク、彫刻のデザイン・制作も行っています。(平日は館内見学可・要予約)

●時間/月～金 am9:00～pm6:00 ●E-mail/contact@creare.jp.com ●http://www.creare.jp.com ●熱海ゆがわら工房 ☎0465-62-2034

9 潮音寺

曹洞宗、この地は走湯権現(伊豆山神社)の門があったので門川と呼ばれます。この寺は千歳川の潮音と波の音が聞けるのでこの名が付けられました。境内には坐禅堂があり、(参拝可、事前予約)坐禅堂の隣には慈母観音があります。寺宝の「釈迦図」(江戸時代)は毎年2月15日に公開されます。

徒歩40分 2.0km

5 泉公園

緑豊かな自然の中に、人工滝を配した憩いの場です。いろいろなイベント会場にもなり夏はイルミネーションが飾られ、光の公園になります。

徒歩15分 0.9km

4 椿寺

身延山瀧河原別院・椿寺は不動明王を祀る日蓮宗の寺院です。標高180メートルの山の斜面に建ち瀧河原温泉を見降し、晴れた日には相模湾もより遠く房総半島まで見渡す雄大な眺望に恵まれています。境内は約1,000本、250種ほどの椿(現頃2月～3月)におおわれ開花時は見応えがあります。ベットの壺を祀る動物愛護廟があることも知られています。

徒歩15分 0.9km

3 岩殿観音

「吾妻鏡」に建暦元年(1211)に頼朝の妻政子が観音堂北条泰時を従えて参拝し、又貞永元年に政子が観音堂の修理費の式をあげたとの記録のある鎌倉幕府ゆかりの観音堂です。

●毎年4月18日開扉日 ●若戸山の中腹には若戸観音(奥院)があります。(例祭4月17日)

徒歩35分 1.7km

3 白山神社 (はくさんじんしゃ)

伊豆山神社裏山500メートル上の巨岩が重なる豊境に広さ4メートル四方の社殿が鎮座し、菊理媛命(くくりひめのみこと)が祀られ、付近は森林におおわれ神祕の念をおこさせています。天平元年(729)の夏、東国一帯に疫病流行の際、白山の神威によって祈願した修験者の神域です。

●伊豆山郷土資料館横入り口に説明板あり

徒歩10分 0.36km

15 興亜観音

この興亜観音像は、昭和15年(1940)2月、陸軍大将、松井石根(まついいしね)の発願によって、日中戦争での日中両軍の戦死者を弔慰、供養するために建立されたものです。中国の土を使い高さ3.3メートルの観音像を愛知県常滑市で作られ、堂舎を建てて安置しています。本堂には、観音菩薩を安置、右に日本軍、左に中国軍戦死者の位牌が対等に並んでおり、天井や壁面には日本軍を代表する画家の絵が描かれています。ここよりの眺望は伊豆山麓一帯です。

徒歩26分 1.15km

1 本宮社 (ほんぐうしゃ)

その昔、日金山に松葉仙人(しょうようせんじん)が神鏡を祀り社を建てましたが、後にこの地に社を移しました。更に新宮社(現在の伊豆山神社)に祀ったので残ったこの社が現在の本宮社といわれています。江戸時代初期、東西五間×南北三間半の拝殿、鳥居三ヶ所、本宮寺、求聞持堂がありましたが、野火で焼失し現在は拝殿と鳥居一基があるのみです。

徒歩15分 0.8km

伊豆山

伊豆山

伊豆山